会　議　録

会議の名称	令和８年度　第２回　栃木中央地域会議
開催日時	令和８年５月１９日（火）１８時３０分開会～２０時０９分閉会
開催場所	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館　１階　大交流室
出席者及び欠席者氏名	別記１のとおり
事務局職員職氏名	別記１のとおり
その他出席者等	なし
会議事項	別記２のとおり
会議の公開又は非公開の別	公開
傍聴人の数	０人
その他必要事項	なし
会議の経過（議事の要旨）	別記３のとおり

別記１　出席者及び事務局

○出席者

会　長	下枝　順子	副会長	羽石　昌弘
委　員	有馬　小枝子	委　員	大塚　未来
委　員	市川　彩乃	委　員	堀越　元樹
委　員	平本　重子	委　員	水越　房代
委　員	岡田　真由美	委　員	松本　真由美
委　員	宇佐美　沙弥香	委　員	岩出　律子
委　員	小林　孝司	委　員	大澤　佳子
			以上　１４名

○欠席者

委　員　浅野　暖斗

○事務局

【地域振興部】

鈴木　邦彦（地域政策課長）

青木　稔彦（地域政策課主幹兼栃木中央地域まちづくりセンター所長）

上原　尚之（地域政策課主任）

○その他出席者

なし

別記２　会議事項（議題及び会議結果）

１　開　会

２　あいさつ

３　議　事

（１）栃木市観光・交流拠点整備検討会議委員の推薦について

（２）栃木市上下水道事業調査委員会委員の推薦について

（３）地域予算提案事業の検討について

４　その他

・次回の開催日程について

日　時　　６月９日（火）１８時３０分から

場　所　　きららの杜とちぎ蔵の街楽習館　大交流室

５．閉　会

別記３　会議の経過（議事の要旨）

発言者	議題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
副会長	会長が遅れて出席となりますので進行を代行させていただきます。 それでは議事に入ります。 （１）栃木市観光・交流拠点整備検討会議委員の推薦について 事務局より説明をお願いします。
事務局	【事務局より説明】
副会長	事前に立候補したい旨申出のあった松本委員のほかに引き受けてくださる方はいらっしゃいますでしょうか。 いらっしゃらないようですので松本委員にお願いできればと思います。
事務局	次の議案に移ります。
副会長	（２）栃木市上下水道事業調査委員会委員の推薦について
事務局	事務局より説明をお願いします。 【事務局より説明】
副会長	どなたか引き受けてくださる方はいらっしゃいますでしょうか。
委員	副会長にお願いできないでしょうか。
副会長	他にいらっしゃらないようですので私が引き受けたいと思います。
会長	遅れての出席となり申し訳ありません。進行を引き継ぎます。 次の議案に移ります。 （３）地域予算提案事業の検討について 事務局より説明をお願いします。

事務局	【事務局より説明】 事業案１：とちぎ蔵の街ノスタルジック仮装ウォーク開催事業 事業案２：とちぎ蔵の街ユース地域づくり提案事業 事業案３：とちぎ蔵の街ショートストーリーコンテスト開催事業 事業案４：とちぎ蔵の街 Night Map 作成事業 事業案５：栃木中央地域交通事故防止対策事業 事業案６：プレ高齢者世代フレイル予防啓発事業 事業案７：こどもの権利啓発事業 事業案８：栃木中央防災啓発イベント開催事業
会長	何か質問はございますか
委員	事業案８について、イベント会社への委託部分については複数の事業者は検討し得るのでしょうか。
事務局	事業概要で想定している事業者は近隣自治体の防災関係イベントの開催実績がある事業者となりますが、実際の業者選定にあたっては様々な要素を踏まえて検討することになります。
委員	事業案３について、応募部門を複数設けることはしないのでしょうか。
事務局	応募がどの程度あるか未知数であること、これまでの開催実績がないことから、今回は単一部門での開催を想定した事業案となっております。
委員	事業案５について、１校や２校だけではなく、地域内の全４校で実施することはできないでしょうか。継続事業として次の会期に宿題を残すのではなく、単年度でまとめて実施すべきかと思います。
事務局	同事業は他の地域会議でも提案が見込まれております。 ４校での実施の可否については所管課に確認いたします。
委員	事業案８は今回の会議ではじめて見る案だと思います。どういった経緯で浮上した案なのでしょうか。
事務局	昨年度はじめの地域課題の洗い出しの段階で、防災に関するものがあげられておりました。 地域会議と認定まちづくり実働組織との連携の強化を図ることも必要であり、栃木中央実働組織「うずま協力隊」の主要活動分野である防災をテーマとした事業を事務局として提案させていただきました。

委員	うずま協力隊は防災以外の事業には取り組めないのでしょうか。
委員	幅広く地域づくりに取り組む団体ではありますが、現状は防災をテーマとした活動が中心となっています。
委員	うずま協力隊がどういった団体でどういった実績があるか存じ上げません。 なぜ他の団体ではなくうずま協力隊なのでしょうか。
事務局	うずま協力隊は栃木市の地域自治制度に基づく認定を受けた栃木中央地域の認定まちづくり実働組織となります。 地域会議と認定まちづくり実働組織の共同提案により、同団体への委託による事業の実施が可能となっています。
事務局	認定まちづくり実働組織については、昨年度はじめの地域会議でお配りした栃木市地域未来ビジョンや地域会議委員用手引きにも記載されています。 栃木中央地域会議とうずま協力隊の連携を構築するきっかけとしては、両者で共有し得る地域課題である防災をテーマとして、防災イベントを開催することが有効であると考えられます。
委員	うずま協力隊には他地域の実働組織のように、防災以外のテーマにも取り組んでいただきたいと思います。
委員	他のイベントでもありがちですが、イベントを業者への委託を取り入れると、うずま協力隊がこれまで構築してきたノウハウが無駄になってしまわないか心配です。
委員	この事業は事業費が高額だと思いました。イベント会社への委託を含めず、認定まちづくり実働組織や関係団体が協力して全体の運営を担えばより低予算で実施できるかと思います。
事務局	イベント会社への委託を取り入れることで、資材や人員等兼ね合いから、認定まちづくり実働組織や関係団体、行政では実施できない企画を取り入れることが可能です。 また、委託可能な部分は外部に委託することで、認定まちづくり実働組織や関係団体が注力したい企画に専念できるメリットもあげられます。
委員	委託はいいことばかりに見えますが、地域のイベントは地域の団体で運営するからこそ、地域のつながりが深まり、当該団体への関心も高まるものだと思います。

事務局	検討させていただきます。
委員	事業案２と事業案３については実施は難しいのかなと思っていましたが、実現可能な形態で事業案になってきたと思います。
事務局	次回会議にてより具体的な内容を提示できればと考えております。
委員	うずま協力隊の活動については地域会議だよりにも毎号掲載されております。 前会期の栃木中央地域会議でも意見交換会を開催していました。
会長	ありがとうございました。 以上で本日の議事は終了となります。